

＜食と農＞に関する
小国地域の現状と課題

- ・小国地域内において、地域郷土食を味わえる場所があまり無い。
- ・少子高齢化により、親から子への食文化継承が十分になされていない。
- ・大型スーパーの進出により、地域農作物の消費が低下し、季節感ある食生活が崩壊しつつある。
- ・地域づくり活動において、女性達が参画する機会が少なく、今ある活動自体も表面化していない。

当会が目指す
3つの理念

＜地域食文化の継承と創造＞

伝統的食習慣、郷土食、名産・特産食品や食材などを正しく継承しつつ、食養・薬膳や健康医学理論と方法を用いて新しい地域食文化を創出し、次世代へ伝えてゆく。

＜食と農＞に関する
日本社会の現状と課題

- ・輸入汚染米、毒入り餃子事件、BSEなどの背景により、“食の安全・安心”を求める意識が高まっている。
- ・食の欧米化によって、食料自給率が低下し、疾病なども増加している。
- ・全国で画一的な食文化が波及しており、地域の特色が失われつつある。
- ・生活スタイルの変化により、家族の食卓におけるコミュニティの崩壊が拡大している。

＜食業の創造による
雇用・生きがいの創出＞

地域の女性達を中心に、食による産業起こしを通して、地域に雇用と生きがいを創出し、小国地域をPRしていく。

＜健康で安心・安全な
「食」コミュニティの構築＞

食をテーマに、健康な暮らしづくりの提案を行い、独居老人や高齢者等への安心・安全な食生活の確保を行う。

【四季を通じ、健康的な小国らしい食文化の提案】

具体的な活動の展開【3つの柱】

新たな食業の創出

- 「ふるさと薬膳 八石ぼたん」
- ・各種イベントへの参加
→小国地域内及び地域外のイベントへ積極的に参加し、ふるさと薬膳や小国地域のPRを行う。
- ・薬膳レストラン等、新規事業の検討
→雇用・生きがいの創出

郷土食の調査・研究・継承

- ・地域伝統食（郷土食）の発掘
→地域の名人からの聴き取り調査や、郷土食に詳しい各グループからの学びの機会を作る。
- ・調理実習の開催
- ・食農教育の推進
→子供たちへの食育の実施
- ・レシピ集等の冊子制作
- ・加工品等、地域特産品の開発
- ・地域の季節野菜調査

「食」コミュニケーションの促進

- ・薬膳茶を活用したお茶会の開催
- ・機関紙発行、HP掲載（情報発信）
- ・高齢者への安心・安全な食の提供
- ・体験教室等による交流促進活動
- ・農業生産者、女性グループ、若者等との繋がりがりづくり活動